

外国語－６（第３学年） 必要な情報を正確に聞き取る事例
【学習活動の概要】

1 単元名 「Program 6 Okinawan Music」

2 単元の目標

自然な速さで話される短い英文を正しく聞き取る。好きな音楽や曲についてスピーチをする。

3 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・相手に聞き返すなどして、好きな音楽や曲について言われたことを確認しながら聞き続けている。

【外国語表現の能力】

・好きな音楽や曲についての情報や自分の意見を、まとまりよく話すことができる。

【外国語理解の能力】

・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。

【言語や文化についての知識・理解】

・現在分詞・過去分詞の後置修飾、接触節を用いた文の構造を理解している。

4 教材

本事例の教材は、写真を見ながら沖縄の音楽について会話する場面や沖縄の音楽について発表する場面の英文である。現在分詞・過去分詞の後置修飾及び接触節が新出の文法事項であることから、特定の人や物について話される詳細な内容を正しく聞き取る能力を高めることや、視覚資料を用いながらまとまりよくスピーチを行う言語活動に適した教材である。

5 主な学習活動

(1) 単元の展開（全6時間）

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次 (2)	・沖縄の音楽に関する対話を聞き取る。 ・人や物を表す名詞について説明を加える言い方を練習する。	・単元のゴールとして「自分の好きな音楽や曲を紹介するスピーチ」を示す。
第二次 (2)	・沖縄の音楽に関するスピーチを聞き取る。 ・教科書本文と一部異なる英文を聞いて、どこが違っているかを聞き分け、説明する。	・自然な口調で話される英語に繰り返し触れる機会を設定する。
本時 第三次 (1)	・質問例を参考にしながら、ペアで自分の好みの音楽や曲について対話をする。 ・相手を変えながら繰り返し練習することで、なめらかに対話できるようにする。 ・対話した内容を基に必要な情報を加えて5文以上のスピーチを完成させる。	・人や物を表す名詞について説明を加える言い方を意図的に用いる。 ・理解できなかったことを聞き返したり、言われたことを確認したり、興味のあることを更に質問したりしながら聞き続けるよう意識させる。また、必要な語彙や表現を練習させる。
第四次 (1)	・ペアやグループでスピーチを行う。 ・相手を変えながら繰り返し練習することで、なめらかにスピーチができるようにする。 ・印象に残った友だちのスピーチを紹介する英文レポートを書く。	・絵や実物を示して聞き手の理解を容易にするなどの工夫をさせる。 ・聞き手に分かりやすく話すように意識させ、より良いスピーチとなるよう改善させる。

(2) 本時の学習（3/6時間）

目標：自然な速さで話される短い英文の内容を、正しく聞き取る。

展開：

- ① 自然な口調の英文による説明を聞いて、絵の中で欠けている情報を聞き取る。
- ② 教科書本文の沖縄の音楽に関するスピーチやその他のスピーチを聞き取る。
- ③ 教科書本文と情報が異なる英文を聞いてどこが異なっているかを聞き分ける。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

学習指導要領 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くことの(イ)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。」の指導事項に関わる事例である。

自然な口調の英語、すなわち、現代の標準的な発音で正しい強勢、イントネーション、区切りを伴い、適切な速さで話されたり読まれたりする英語を聞いて、音の変化やスピードに対応して事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解することを指導するもので、基礎的・基本的な言語活動である。

なお、聞かせる英文やスピーチの題材は、生徒の発達の段階及び興味・関心に即して決定すべきである。教科書の英文を参考にしやすいように「好きな音楽や曲」とすることもよいが、自国の伝統文化について外国の人々に発信できる素養を培うことも必要であるため、風俗習慣や伝統文化を紹介する発展的なスピーチとしてもよい。

【言語活動の充実の工夫】

伝えられている必要な情報をきちんと受け止めること、つまり何が言われているかを的確にとらえることは、内容に応じたり応答したりするための前提となる技能である。したがって、比較的短い英文を聞いて、その中で出てくる事実や話されている出来事、話者の考えなどの情報を吟味しながら正しく理解することが大切である。

① 自然な口調の英文による説明を聞いて、絵の中で欠けている情報を聞き取る。

【工夫点】

- ・絵を見て、事前にどのような英文が読み上げられるかを想像させる。
- ・日本語を介さずに聞くように注意させる。
- ・欠けている情報を絵で描き加えさせたり、英文を言わせたりする。

② 教科書本文と情報が異なる英文を聞いてどこが異なっているかを聞き分ける。

【手順】

- 1) 教師が話す英文の中で、教科書本文と異なる情報に気付いたときは、英文を聞いた後に "Doubt!" (又は False!) と言う。
- 2) 教科書本文と異なる語(句)を発表する。
- 3) できれば、文全体を正しく言い換える。

【工夫点】

- ・単語練習、句や節ごとの繰り返しや音読練習等を行い、生徒が内容をよく理解した後に行う。
- ・1文ずつ聞かせて、事実や話者の考えなどの情報を正しく理解できるようにする。
- ・何度か聞かせて、自然な口調の英文に慣れるようにする。
- ・活動自体や英文の速さにある程度慣れてきたところで、教科書本文と異なる語を正しく見付けているかどうかを見極め、自然な速さで話される短い英語の内容を正しく聞き取る能力について評価する。
- ・1回目とは違う部分を変えてもう一度聞かせる、教科書を見ながら聞かせてもう一度聞かせて音と語の結びつきを強化するなど、変化をもたせて、繰り返し集中して聞かせる。
- ・正しい英文に言い換えることを重視した活動や生徒同士による活動など、「話すこと」の言語活動へと発展させることもできる。

A lot of new songs are written in Okinawa every day. [year]

Many famous musicians and singers were born there too.

So, there are a lot of singers of Okinawan music all over Japan. [fans]

They like the unique melody.

I like "Shimauta" the best of all the songs written in Okinawan melody.

The song expresses a special message through its words — a wish for happiness. [peace]

(以下省略)

※アンダーラインが異なる情報、[] が正しい情報